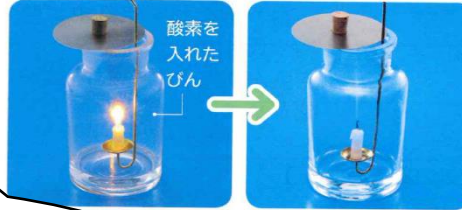


5月19日

ものの燃え方③(P. 18~21)

① どうして火は消えたのでしょうか
<自分の考え>



酸素を入れたびんの中でも、ろうそくの火はやがて消えました。

酸素にはものを燃やすはたらきがあったはずなのに！！どうしてだろう。

②

課題 ものが燃える前と燃えた後の空気には、どのようなちがいがあ
るのだろうか。

③

予想 (燃える前と後で、空気の何がどのように変化したのだろう。
理由も書こう！P18の2人の会話を参考にしてもいいよ！！)

ちっ素は変化しません！空気中の酸素や二酸化炭素に注目して予想を書こう。

④ 実験方法

燃える前と後の空気を **A** 気体検知管と **B** 石灰水を使って調べます。

P.19の実験方法をよく読みましょう。

○下は気体検知管と石灰水の説明です。P.240、241に使い方がくわしくのっているのでよく読みましょう。

A 気体検知管

とりこんだ気体にどれくらい酸素や二酸化炭素があるのかを調べる
ことができる器具

B 石灰水

二酸化炭素があるかどうかを調べることができるもの。
調べたい気体をびんにとり、石灰水を入れて混ぜた時に、白くに
なれば調べたい気体は二酸化炭素である。

⑤

実際の実験は、学校が始まってから行います。
今回はP.20を見て結果を写しましょう。

結果

◎気体検知管を使った実験

	燃やす前	燃やした後
酸素	約21%	約 %
二酸化炭素	約0.03%	約 %

◎石灰水を使った実験

ろうそくを燃やした後の空気のほうが石灰水が ()。

⑥

酸素や二酸化炭素の量の变化や石灰水がにごったこと
からどんなことが考えられる。

考察

燃やす前と燃やした後のちがいを考察しよう。

分からない人は P.20 を参考に！

⑦まとめ

ろうそくなどのものが燃えると空気中の（ ）が減り、（ ）が増える。

減るだけですべてなくなるわけではないよ！

⑧振り返り（何を学んだのか自分の言葉で分かったことを書こう。）

①の火が消えた理由を説明できるようになったかな。

【 燃える前と後の空気中の酸素や二酸化炭素などの体積の割合 】

